

続よくわかる

市庁舎・福祉会館問題

西岡市長就任 1年。 「まとめて建てる」市長選公約のその後。



小金井市議会議員
リベラル保守の会

渡辺 大三

いつもお世話になりありがとうございます。

平成 27 年 12 月に行われた市長選の直前に、市民の皆様への情報公開の一環で、「よくわかる市役所庁舎問題 その歴史と解決方法」(全 16 ページ)を発行し、市内の 4 分の 1 の世帯に配布させていただきました。その後、西岡市長が初当選し、種々の動きがありましたので、このたび、福祉会館問題も含めて続編を発行いたしました。大変お忙しいと思いますが、御一読いただければ幸いです。

■ 西岡市長の選挙公約を振り返る 「4機能をまとめて複合建築」「お金の心配なし」

平成27年12月、小金井市長選が行われました。4人が立候補する激戦となりましたが、当選したのは民主党(現:民進党)の元都議会議員・西岡真一郎氏でした。西岡氏の選挙公約の内、最大のものは「蛇の目ミシン工場跡地に、①市役所、②福祉会館、③図書館本館、④集会施設をまとめて複合建築する」「財政問題と切り離してできる」でした。つまり、「お金の心配なく、まとめて建築できる」と公約したわけです。蛇の目ミシン工場跡地に、それらの施設を建設するとの西岡氏の考え方は、私の政策と共通するものでした。しかし、「まとめて複合建築」するだけの財政力が小金井市にあるわけもなく、「財政問題と切り離して」建設できるとも思えませんでした。

他の候補の公約を見ると、自民党と公明党の推薦候補である五十嵐氏は、選挙公報に市庁舎建設の件は記載しませんでした。共産党、生活者ネットワーク、緑・市民自治こがねい等が応援する白井候補は、選挙公報に市庁舎建設は明記していませんが「年度ごとに進捗をチェック!計画的な行政運営へ」との目標を掲げました(たぶん、支持政党間で政策の相違があったので、そのような表現にとどめたのだと思われます)。私どもリベラル保守の会や斉藤康夫市議が応援した岩淵候補は、選挙公報に「予定地にすみやかに市庁舎を建て財政の負担を減らします」と掲げました。

■ 西岡市長、自らの選挙公約の検証に向けてPTを設置

初当選した西岡市長は、市議会で読み上げる「施政方針」で、「蛇の目ミシン工場跡地に市庁舎を建設する」「第二庁舎は所有者(民間)に返還する」との趣旨の方針を明らかにしました。その内容は、私の政策とも一致するもので好ましく感じました。自民党の稲葉前市政では、第二庁舎を突然所有者から買い取ると言い出すなど怪しい動きが多過ぎたので…。

一方、西岡市長は、平成28年3月に、「蛇の目ミシン工場跡地に、①市役所、②福祉会館、③図書館本館、④集会施設をまとめて複合建築する」「財政問題と切り離してできる」との自らの公約を「検証」する庁内プロジェクトチーム(PT)を設置し、8月末までその作業を行うとしました(PTは市の関係課長職で構成)。これには違和感を覚えました。通常、公約は「実施」する対象であり、「検証」する対象ではないからです。これは私の推測ですが、公約を掲げたものの、実際に実現するのは困難と判断し、PTの設置で「ワンクッション」置こうと考えたのではないかと思います。

この時期は、まだ市長選が終わったばかりであり、実現不可能な公約で当選した西岡市長に対しては、他の市長候補を応援した大政党も「カチン」と来ていたようで、新市長と議会の間はかなりギクシャクし、平成28年度当初予算の否決(賛成2・反対21)という事態を招きました。